

授業科目名	子どもの食と栄養		科目コード	204030	
開講クラス	こども未来科	コース	保育士・幼稚園教諭	学 年	3年
担当教員	外部非常勤講師		実務経験教員 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 )		
	実務経験内容 ・管理栄養士として老人介護施設・病院等勤務を経験。 ・宮崎県内で食育推進リーダーとして食育活動を開始。名称を食育ティーチャーと変更し、長年にわたり活動。 ・特定非営利活動法人食生活応援団ベジフルバスケットにて、各種講座や子育て支援等実施し、前身の食育活動も含め、長きに及んで「食」をメインとした活動を行う。 ・近畿大学九州短期大学通信教育部非常勤講師 管理栄養士として様々な現場に携わっている経験を活かし、保育現場で必要な食に関する基礎知識及び子ども一人ひとりに応じた食支援について、また自分自身の健康管理についても理解を深められるような授業を行う。				
開講時期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	30 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必 須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	2 単位	
使 用 テキスト1	書 名	「新 保育ライブラリ 子どもの食と栄養」			
	著 者	二見大介・高野陽編			
	出版社	北大路書房 2011 年			
使 用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実験 ・ その他 ( )				
<授業の目的・目標> ・小児の発達・発育の特性、栄養に関する基本的な知識を踏まえ、小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、食生活、集団給食(保育所給食)、食育の重要性を理解する。					
<授業の概要・授業方針> ・管理栄養士として様々な現場に携わっている経験を活かし、具体的な事例や実験、実践を取り入れた授業を行う。 ・栄養の基礎概念と栄養素の種類や機能、日本人の食事摂取基準などの基礎知識を身に付ける。 ・妊娠・授乳期から、乳幼児期、学童期、思春期までのそれぞれの心身の発達と食生活について理解を深める。 ・小児の疾病と食生活、食事療法が必要な小児への対応、障がいがある小児の食生活などについて理解する。					

<成績基準・評価基準> ・レポート提出 50% 科目終末試験 50% ・授業の参加意欲、態度と調理実習や実験のレポート 成績基準 優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：59点以下		
<使用問題集・注意事項>		
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>		
授業科目名	子どもの食と栄養（授業）	
回	授 業 内 容	備 考
1	食育基本法について	
2	子どもの健康と食生活の意義	
3	栄養に関する基本的知識	
4	間食の意義とその実践	
5	五大栄養素と体内の主な働きまとめ	
6	食事摂取基準の意義とその活用	
7	子どもの発育・発達と栄養・食生活	
8	子どもの集団生活における食事づくりの考え方まとめ	
9	小児期の食育の必要性について	
10	幼児期・学童期・思春期の心身の発達と食生活	
11	乳児期の授乳の意義と食生活	
12	子どもの生活習慣病について	
13	特別な配慮を要する子どもの食と栄養・障がいのある子どもの食生活	
14	母乳成分についてのまとめ／咀嚼機能発達についてまとめ	
15	子どもの食と栄養まとめ	

授業科目名	子どもの食と栄養（スクーリング）	
16	乳児期の授乳栄養について	
17	調理前の衛生管理／手洗い及び手指消毒について（食中毒予防）	
18	調乳実習／調乳・まとめ	
19	小児の発達・発育の特性	
20	離乳栄養／離乳食実習	
21	離乳食実習 まとめ	
22	乳児期の混合栄養／小児期の食生活（食事と間食）	
23	幼児期の発達と栄養／学童期の発達と栄養	
24	思春期の発達と栄養／3：2：1 お弁当箱ダイエット法とは	
25	実践について(調理器具の使用法・使用上の注意)	
26	幼児食実習（3・2・1 お弁当箱ダイエット法によるお弁当作り）①	
27	幼児食実習（3・2・1 お弁当箱ダイエット法によるお弁当作り）②	
28	お弁当発表・試食・感想まとめ・片付け	
29	小児期の食生活について(アレルギー対応)	
30	総まとめ	